

日本保健医療行動科学会

第35回学術大会

医療者が当事者性を 持つことの意義を問う

大会長 安酸史子（関西医科大学看護学部）

6月20日（土）

- 基調講演 「当事者性を大切にしたセルフマネジメント支援」 安酸史子（第35回大会長）
シンポジウムⅠ 「セルフマネジメント支援における当事者性とは何かー専門家の立場からー」
特別企画 「医療や病気に関する上方落語（演目は当日のお楽しみ!）」 桂文我 師匠
ワークショップⅠ 「動機付け面接を活用したセルフマネジメント支援」
「アサーションを活用したセルフマネジメント支援」

6月21日（日）

- 特別講演 「当事者からみたセルフマネジメント支援」
シンポジウムⅡ 「当事者を支える重要他者としての専門家・家族・友人の役割」
ワークショップⅡ 「コーチングを活用したセルフマネジメント支援」
「ナラティブを活用したセルフマネジメント支援」

日時 2020年6月20日（土）～21日（日）

会場 関西医科大学（京阪本線 枚方市駅より徒歩5分）

参加費

- 事前申込：会員5,000円、非会員6,000円、
大学院生3,000円、学部学生2,000円
当日申込：会員6,000円、非会員7,000円、
大学院生3,000円、学部学生2,000円

事前参加登録期限 2020年5月29日

学術大会実行委員会事務局

〒573-1004 大阪府枚方市新町2丁目2番2号
関西医科大学看護学部

Email: 35jahbs @ gmail.com

主催：日本保健医療行動科学会

学会webサイト: <http://www.jahbs.info/>

